

拡充	高齢者見守り支援業務 〔予算額 842千円〕 認知症施策推進業務 〔予算額 38,627千円〕 ※介護保険特別会計 認知症高齢者見守り業務 〔予算額 1,598千円〕 ※介護保険特別会計	福祉部長寿課 予防係 (23-6836)
財源内訳	◇高齢者見守り支援業務:一般財源 842千円 介護保険特別会計 保険料 5,053千円、国庫支出金 19,781千円、県支出金 7,289千円、繰入金 8,102千円	
支出内訳	3款2項2目 老人福祉費／◇高齢者見守り支援業務:印刷製本費 32千円、賠償責任保険料 810千円 介護保険特別会計 3款3項1目 包括的支援事業等諸費／◇認知症施策推進業務:費用弁償 98千円、特別旅費 10千円、 認知症地域支援推進委託料 31,890千円、認知症初期集中支援委託料 5,098千円、認知症普及啓発委託料 253千円、 認知症カフェ運営費補助金 400千円、認知症施策推進研修負担金 878千円 3款3項2目 任意事業費／◇認知症高齢者見守り業務:講師等報償金 74千円、消耗品費 425千円、印刷製本費 319千円、通信運搬費 60千円、 会場使用料 55千円、位置情報検索サービス導入費補助金 600千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 65千円	

認知症施策を拡大します。

認知症となっても地域の中で支えあいながら暮らしていけるように認知症施策を拡大します。

新規

認知症本人の居場所づくり
認知症「本人」支援のための研修会等開催



拡充

認知症による不測の事態に備える
個人賠償責任保険事業

・介護保険負担割合による加入制限等を緩和します。



新規

認知症による行方不明に備える
位置情報検索サービス導入費補助金

・小型端末（GPS等）により位置情報が検索できる民間サービスの導入初期費用に対する助成の実施
 （上限1万円、通信費等は除く）



拡充	障がい者地域生活支援業務 〔予算額 438,831千円〕	福祉部障がい福祉課 施策係 (23-6163)
財源内訳	国庫支出金 108,704千円、県支出金 54,351千円、諸収入 499千円、一般財源 275,277千円	
支出内訳	3款1項3目 障がい者福祉費／委員報酬 720千円、会計年度任用職員報酬(ロングパート) 4,086千円、会計年度任用職員手当(ロングパート) 761千円、会計年度任用職員共済費(ロングパート) 888千円、講師等報償金 136千円、事業協力者報償金 7千円、費用弁償 279千円、特別旅費 3千円、食糧費 11千円、印刷製本費 77千円、通信運搬費 7千円、賠償責任保険料 49千円、相談支援事業委託料 83,312千円、意思疎通支援事業委託料 9,173千円、地域活動支援センター事業委託料 17,283千円、手話通訳者・要約筆記者養成事業委託料 2,160千円、点字・声の広報等発行事業委託料 167千円、スポーツ・レクリエーション教室開催等事業委託料 1,165千円、芸術文化講座開催等事業委託料 490千円、基幹相談支援センター事業委託料 32,052千円、ピアサポート活動委託料 98千円、障がい者自立生活訓練事業委託料 13,880千円、職員研修負担金 6千円、成年後見制度申立負担金 284千円、地域生活支援事業費負担金 3,216千円、全国ろうあ者体育大会派遣事業費補助金 443千円、位置情報検索サービス導入費補助金 300千円、相談支援従事者初任者研修受講料補助金 375千円、全国手話言語市区長会負担金 10千円、成年後見制度利用助成費 4,508千円、日常生活用具給付費 87,750千円、移動支援費 42,854千円、在宅重度障がい者等訪問入浴サービス費 32,750千円、在宅重度障がい者住宅改修費助成費 2,200千円、日中一時支援費 95,823千円、自動車改造費助成費 1,500千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 8千円	

■障がい児・者を対象とした見守り支援事業を新たに実施します。

新規

所在不明となるおそれのある障がい児・者を対象に次の事業を実施します。

- ・小型端末（GPS等）により位置情報が検索できる民間サービスの導入初期費用に対する助成の実施（上限1万円、通信費等は除く）
- ・所在不明時の事故発生等の不測の事態に備えた個人賠償責任保険事業の実施
- ・所在不明時の情報提供呼びかけのため、高齢者の見守りネットワーク事業の対象として障がい児・者を追加



■障がい児・者の相談支援体制の強化を図ります。

拡充

- ・増加する障がい福祉サービス利用相談に対応するため、委託相談支援事業所の体制を強化
- ・相談支援専門員の増加及び人材育成の促進を図るため、資格取得のための研修受講に対する補助の実施



障がい児・者が自立した日常生活や社会生活を営むための支援をします。

拡充	災害時要配慮者支援業務 〔予算額 2,990千円〕	福祉部地域福祉課 総務施策係 (23-6922)
財源内訳	一般財源 2,990千円	
支出内訳	3款1項1目 社会福祉総務費／特別旅費 11千円、消耗品費 28千円、印刷製本費 152千円、通信運搬費 2,377千円、 個別避難計画作成支援委託料 422千円	

災害対策基本法の一部改正

～災害時における
円滑かつ迅速な避難の確保～

<課題>

避難行動要支援者名簿の作成は進んだが、いまだ災害により、多くの高齢者などが被害を受けており、避難の実効性の確保に課題

制度変更

<対応>

避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難を図るため、個別避難計画(※)について、市町村に作成を努力義務化

※避難行動要支援者(高齢者、障がい者等)ごとに、避難支援を行う者や避難先等の情報を記載した計画

作成の優先度の高い計画

⇒市が支援し計画作成 ※令和4年度はモデル地区で実施

<計画作成の手順>

- ・ 地域住民や福祉・医療関係者等を対象にワークショップを実施し、計画作成方法を検討

- ・ 計画作成に向けた関係者との事前調整等

- ・ 市、地域住民や福祉・医療関係者等による

計画作成の実施

- ・ 計画の取りまとめ、関係者への計画の提供



※令和5年度以降は、モデル地区での検証を踏まえ、市の支援による計画作成の拡大を目指します。

感染症発生防止・医療関連業務 〔予算額 434,160千円〕 衛生検査業務 〔予算額 110,801千円〕		保健部保健予防課 感染症対策1係 (64-1585)
財源内訳	国庫支出金 213,166千円、使用料及び手数料 4,621千円、一般財源 327,174千円	
支出内訳	4款1項2目 感染症予防費／◇感染症発生防止・医療関連業務：委員報酬 38千円、講師等報償金 65千円、委員報償金 180千円、特別旅費 184千円、消耗品費 11,419千円、燃料費 13千円、食糧費 4千円、医薬材料費 2,455千円、通信運搬費 33千円、医療費審査支払手数料 2,660千円、新型コロナウイルス感染症受診相談派遣手数料 29,241千円、害虫駆除委託料 208千円、防疫機器保守点検委託料 33千円、新型コロナウイルス感染症行政検査委託料 121,122千円、自宅療養者配食サービス委託料 56,700千円、新型コロナウイルス感染症受診相談委託料 62,568千円、新型コロナウイルス感染症自宅療養者搬送委託料 22,752千円、機器賃借料 2,838千円、通訳サービス使用料 660千円、機械器具購入費 4,039千円、愛知県医療従事者応援金負担金 7,695千円、新型コロナウイルス感染症自宅療養者医療体制確保協力金 22,704千円、新型コロナウイルス感染症回復患者転院受入協力金 3,600千円、感染症医療扶助費 81,000千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 1,949千円 4款1項5目 保健所費／◇衛生検査業務：普通旅費 29千円、特別旅費 220千円、消耗品費 6,605千円、印刷製本費 80千円、機械器具修繕料 1,103千円、医薬材料費 83,341千円、健康診断手数料 88千円、洗濯料 96千円、外部精度管理調査手数料 247千円、機械器具保守委託料 10,059千円、廃棄物処理委託料 479千円、機器賃借料 7,803千円、機械器具購入費 512千円、職員研修負担金 139千円	



新型コロナウイルス感染症対策として、現在実施している受診相談、検査、積極的疫学調査、健康観察などを継続して行うことで、感染拡大を防止し、患者への適切なケアに努めます。令和3年度は4月から6月までの第4波、7月から9月までの第5波の2回の大きな感染拡大が発生しております。令和4年度も、感染拡大の周期的な発生を想定しており、第5波の2回分に相当する新規感染者が発生した場合にも対応できる予算を確保いたします。

月	R3 4月	R3 5月	R3 6月	R3 7月	R3 8月	R3 9月	R3 10月	R3 11月	R3 12月
新規感染者	247人	576人	217人	108人	1,650人	818人	35人	4人	9人
	第4波 1,040人			第5波 2,576人					

コロナ対策



拡充	予防接種業務 〔予算額 1,512,805千円〕	保健部保健予防課 予防接種係 (23-6714)
財源内訳	国庫支出金 11,532千円、県支出金 6,816千円、一般財源 1,494,457千円	
支出内訳	4款1項3目 予防対策費／委員報酬 76千円、特別旅費 47千円、消耗品費 476千円、印刷製本費 1,361千円、通信運搬費 2,845千円、広告料 175千円、賠償補償保険料 855千円、審査支払手数料 1,635千円、四種混合等予防接種委託料 183,856千円、ポリオ予防接種委託料 232千円、小児用麻しん風しん予防接種委託料 80,959千円、日本脳炎予防接種委託料 175,323千円、BCG予防接種委託料 34,373千円、子宮頸がん予防接種委託料 111,969千円、ヒブ予防接種委託料 126,775千円、小児用肺炎球菌予防接種委託料 168,850千円、インフルエンザ予防接種委託料 240,249千円、高齢者肺炎球菌予防接種委託料 29,208千円、水痘予防接種委託料 67,444千円、ロタ予防接種委託料 97,377千円、B型肝炎予防接種委託料 75,784千円、おたふくかぜ予防接種委託料 6,944千円、成人風しん予防対策事業委託料 36,354千円、予防接種事務委託料 27,979千円、予防接種予診委託料 55千円、通知書印字封入封緘委託料 6,134千円、住民健康管理システム保守委託料 991千円、住民健康管理システム改修委託料 8,657千円、予防接種研修会開催委託料 617千円、麻しん予防対策事業費補助金 500千円、インフルエンザ予防接種費補助金 9,880千円、予防接種扶助費 5,173千円、特別の理由による再接種扶助費 660千円、予防接種健康被害者対策費 8,992千円	



「定期予防接種」の全て、「任意予防接種」の一部について、岡崎市医師会等に委託し実施します。
 定期の予防接種による健康被害のうち厚生労働大臣が認めたものについて、医療費や年金等の給付を行います。

子宮頸がん予防接種

制度変更

子宮頸がんワクチンは、平成 25 年 4 月に定期接種となったものの、副反応疑いが頻発したため、2 カ月後の 6 月から積極的な勧奨が中断されていました。

その後、ワクチンと副反応の因果関係が調査され、令和 3 年 11 月に積極的な勧奨を妨げるものではないと国が判断し、積極的な勧奨が再開されたため、対象者に個別通知を行います。

- 対象者：中学 1 年生から高校 1 年生に相当する年齢の女子
- 発送時期：令和 4 年 4 月以降に順次発送
- 主な予算：子宮頸がん予防接種委託料 111,969 千円

インフルエンザ予防接種補助

新規事業

中学 3 年生、高校 3 年生に相当する年齢の方は、受験や就職などの大きな節目を迎える時期であることから、この時期の感染への不安を少しでも取り除くことが出来るように、インフルエンザワクチン接種の補助を行います。

- 対象者：中学 3 年生、高校 3 年生に相当する年齢の者
- 補助額：2,000 円（1 人 1 回まで）
- 方法：償還払い方式
- 時期：令和 4 年 10 月頃から開始
- 主な予算：インフルエンザ予防接種費補助金 9,880 千円

予防接種業務 〔予算額 1,975,957千円〕		保健部新型コロナウイルス ワクチン接種推進室 (64-1550)
財源内訳	国庫支出金 1,970,957千円、県支出金 5,000千円	
支出内訳	4款1項3目 予防対策費／事業協力者報償金 171,892千円、特別旅費 152千円、消耗品費 1,001千円、燃料費 329千円、印刷製本費 1,500千円、通信運搬費 12,456千円、傷害保険料 991千円、審査支払手数料 10,710千円、新型コロナウイルスワクチン接種補助員派遣手数料 36,062千円、データ入力委託料 86,175千円、新型コロナウイルスワクチン接種委託料 463,336千円、予防接種事務委託料 65,428千円、通知書印字封入封緘委託料 8,646千円、新型コロナウイルスワクチン接種受付案内委託料 201,879千円、廃棄物処理委託料 39,756千円、会場設営管理等委託料 710,613千円、新型コロナウイルスワクチン配送等委託料 135,182千円、バス運行委託料 2,046千円、事業広報委託料 66千円、会場使用料 16,859千円、自動車借上料 4,950千円、機器賃借料 928千円、新型コロナウイルスワクチン接種支援事業費補助金 5,000千円	

新型コロナウイルス感染症予防接種事業

コロナ対策

○18 歳以上の方への追加 (3回目) 接種

■接種対象・回数

2回目接種完了から6カ月以上経過した 18 歳以上の方を対象に速やかに1回追加接種

■特に追加接種が推奨される方

- ・高齢者、基礎疾患を有するなど「重症化リスクが高い方」
- ・重症化リスクが高い方の関係者・介助者 (介護従事者等) などの「重症化リスクが高い方との接触が多い方」
- ・医療従事者などの「職業上の理由等によりウイルス曝露リスクが高い方」

☞接種体制

公共施設型接種、接種実施医療機関型接種、巡回接種、大規模集団接種等

☞使用ワクチン

ファイザー社製、武田／モデルナ社製

☞接種期間

令和4年9月30日まで

○5～11 歳の方への1・2回目接種

☞接種体制 (予定)

公共施設型接種等

☞使用ワクチン

ファイザー社製 (5～11 歳用)

☞接種期間

令和4年9月30日まで

○12 歳以上の方への初回 (1・2回目) 接種

☞接種体制

公共施設型接種、大規模集団接種等

☞使用ワクチン

ファイザー社製、武田／モデルナ社製

☞接種期間

令和4年9月30日まで

※国・県の方針により、変更になる場合があります。

新規	地域歯科診療体制推進事業補助業務 〔予算額 2,430千円〕	保健部保健企画課 医務指導係 (23-6990)
財源内訳	一般財源 2,430千円	
支出内訳	4款1項1目 保健衛生総務費／地域歯科診療体制推進事業費補助金 2,430千円	

現在、市内では、障がい者の歯科治療に対応できる医療機関に限られるため、障がいをお持ちの方は歯科治療を受けることが困難な状況になっています。

このため、地域の歯科医療資源等をフルに活用し、障がいをお持ちの方も、住み慣れた地域で、受診したいときに、安心して受診できる、安全かつ負担の少ない、地域完結型の『障がい者歯科診療体制』の構築を推進します。



- ♥ 地域の歯科医療資源を活用し、
- ♥ 患者や家族に寄り添いながら、
- ♥ 患者の状態にあった歯科治療を目指します。



「地域歯科診療体制」の推進

歯科医等の質的・量的
拡充を図ります。

障がい者歯科協力医院

かかりつけ歯科医 (相談、健診、診療、紹介)

連携の強化・推進

岡崎歯科総合センター

(相談、健診、診療、紹介)

病院歯科等

愛知県三河青い鳥医療療育センター、愛知学院大学歯学部附属病院

診療機能を増強
します。

高度な歯科医療
を展開します。

拡充	アピアランスケア用品購入補助業務 〔予算額 3,600千円〕	保健部健康増進課 健康増進係 (23-6639)
財源内訳	一般財源 3,600千円	
支出内訳	4款1項1目 保健衛生総務費／アピアランスケア用品購入費補助金 3,600千円	

**令和4年度から、補助対象となるアピアランスケア用品の種別に、乳房補整具を追加します。
これにより、がんの治療に起因する脱毛や乳房切除による外見変化への支援メニューが増えます。**

尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

～がんになっても自分らしく
生きることのできる地域共生社会の実現～

ウィッグ：名古屋市に続き2自治体目

乳房補整具：愛知県内で初の自治体となる予定

【アピアランスケア用品の種別】

●ウィッグ

〈対 象〉がん治療に起因する脱毛に伴い、ウィッグを必要とする人

〈補助金額〉購入費の1/2に相当する額
(上限額 20,000 円)

●乳房補整具

〈対 象〉がん治療に起因する乳房切除に伴い、乳房補整具を必要とする人

〈補助金額〉購入費の1/2に相当する額
(上限額 20,000 円)



がんになっても安心して
自分らしく暮らせるまち

拡充

妊産婦・乳幼児健康診査業務〔予算額 415,737千円〕

〔予算額 健康増進課 64,759千円、家庭児童課 350,978千円〕

保健部健康増進課
母子支援係 (23-6069)
こども部家庭児童課
母子保健係 (23-7683)

財源内訳	国庫支出金 8,805千円、県支出金 132千円、一般財源 406,800千円
支出内訳	健康増進課 4款1項4目 母子保健費／乳幼児身体発育調査報償金 82千円、健康診査報償金 11,398千円、普通旅費 5千円、特別旅費 21千円、消耗品費 264千円、印刷製本費 252千円、医薬材料費 841千円、通信運搬費 10千円、洗濯料 245千円、傷害保険料 66千円、通訳派遣手数料 141千円、4か月児健康診査委託料 18,560千円、1歳6か月児歯科健康診査委託料 9,933千円、再健康診査委託料 1,845千円、3歳児歯科健康診査委託料 10,596千円、妊婦歯科健康診査委託料 6,881千円、機器保守委託料 46千円、通訳サービス委託料 203千円、機械器具購入費 1,210千円、分娩前ウイルス検査費補助金 2,160千円 家庭児童課 4款1項4目 母子保健費／妊産婦・乳児健康診査事務手数料 1,634千円、妊産婦・乳児健康診査負担金 349,344千円

■ 3歳児健康診査に屈折検査機器（スポットビジョンスクリーナー）を導入します

【健康増進課】

スポットビジョンスクリーナーは、弱視の主な原因である遠視・斜視の程度を客観的にリスク推測するための検査機器です。

○対象 3歳児健康診査受診児全員

○予算 1,210 千円【スポットビジョンスクリーナー 1台】

屈折検査機器

検査の実施イメージ



■ 新生児聴覚検査費用の一部を負担します

【家庭児童課】

先天性難聴の出現頻度は 1,000 人に 1～2 人とされ、難聴を早期に発見して早期に適切な支援をすることで、子どもの音声言語発達への影響を最小限に抑えることができます。

新生児聴覚検査は新生児期に可能な検査であり、おおむね生後 3 日以内に実施し、要再検の確認検査はおおむね生後 1 週間以内のため入院中に実施できます。

○予算 12,550 千円【5,000 円（負担額）×2,510 人】

新生児聴覚検査イメージ



新規	残薬管理支援事業補助業務 〔予算額 350千円〕	保健部保健衛生課 環境衛生係 (23-6187)
財源内訳	一般財源 350千円	
支出内訳	4款1項5目 保健所費／残薬管理支援事業費補助金 350千円	

事業内容

複数の医療機関を受診されたり、あるいはお薬を飲み忘れていたりするなど、何らかの理由により、お薬がご家庭に残って困っている高齢者等を対象に「お薬節約そうだんバッグ」を使用して残薬を回収し、適切な残薬管理・指導を行う団体に対し、事業に係る事務経費の2分の1を補助します。



事業目的

- ・一人一人の患者に対して総合的な服薬支援を行う「かかりつけ薬剤師」や「健康サポート薬局」の制度の推進を目指します。
- ・残薬管理を行うことにより、患者の総合的な支援の強化を図ります。
- ・岡崎市内の患者の残薬問題の減少と医療費削減を目指します。

【補助金額】

- ・補助率：2分の1（上限額：350千円）
- ・補助対象経費：残薬管理・指導に係る経費
（広告費、資材作成費、研修会費、郵送費、物品費）

生活困窮者自立相談支援業務〔予算額 65,502千円〕

福祉部ふくし相談課
くらしの相談係 (23-6865)

財源内訳	国庫支出金 49,261千円、諸収入 58千円、一般財源 16,183千円
支出内訳	3款1項1目 社会福祉総務費／会計年度任用職員報酬(ロングパート) 7,921千円、会計年度任用職員手当(ロングパート) 1,486千円、 会計年度任用職員共済費(ロングパート) 1,705千円、費用弁償 286千円、特別旅費 148千円、消耗品費 270千円、自立相談支援委託料 28,930千円、 家計改善支援委託料 7,332千円、就労準備支援委託料 17,424千円

【事業概要】

生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者からの相談に応じ、課題を整理し、自立に必要な支援を行う自立相談支援機関（生活困窮者自立相談支援事業）の機能を強化します。

引きこもりなどで長期間にわたり就労の機会がなかったかた、また社会との繋がりが持てないかたを孤立させないように自立相談から就労準備まで一体的に切れ目のない包括的な支援の充実を図ります。



包括的な相談支援

生活困窮者自立相談支援事業

- ・主任相談支援員（統括）
- ・相談支援員（生活に関する相談支援）
- ・就労支援員（就労に関する相談支援）
- ・ホームレス支援員（巡回相談など）
- ・アウトリーチ支援員（就職氷河期世代支援）



状況に応じた専門的な支援

- | | | |
|-----------------------|---|-----------------|
| 家賃が払えず住居が維持できない | ⇒ | 住居確保給付金 |
| 柔軟な就労訓練の場が必要 | ⇒ | 認定就労訓練事業 |
| 住居を喪失し緊急的な支援が必要 | ⇒ | 一時生活支援事業 |
| 子どもを塾などに行かせられない | ⇒ | 子どもの学習支援事業 |
| 家計を管理できず生活が苦しい | ⇒ | 家計改善支援事業 |
| 就労へ向けた準備や訓練が必要 | ⇒ | 就労準備支援事業 |

拡充

就労に向けた困難や課題を抱えるかたに就労体験を含む準備の機会を提供するなど伴走して支援を行い、課題の克服及び社会参加の促進を図る。

地域医療体制の充実〔予算額 946,299千円〕		岡崎市民病院事務局総務課 経理係 (66-7015)
財源内訳	一般会計負担金 28,367千円、企業債 392,700千円、県補助金 211千円、自己財源 525,021千円	
支出内訳	病院事業会計(資本的支出) 1款1項1目 建設改良費／委託料 32,329千円、工事請負費 417,104千円 1款1項2目 資産購入費／器械備品購入費 496,866千円	

令和4年4月から感染症小児科を開設し、小児領域の感染症治療の充実を図ります。
 救命救急センターを有し、第3次救急医療を担う地域の中核病院として医療水準の確保及び多様化・高度化する医療ニーズに対応する機能の充実を図るほか、施設内の改修工事や高度医療機器の整備を行います。
 また、岡崎市民病院のことをもっと知っていただくため、公式 SNS を活用し、院内の日常や取り組みなどを発信します。

医療機器の整備・充実 〔予算額 496,866千円〕

最新機器を導入し、市民に高度な医療を提供できる病院として、信頼に応えていきます。

◇血管造影エックス線診断装置 ◇手術用顕微鏡 ◇内視鏡システムなど

施設や設備の更新 〔予算額 449,433千円〕

安定した病院運営を行うため、厨房洗浄室の改修など施設や設備の更新工事を行います。

☆多岡崎市民病院の魅力を発信します。



Instagram



@okazaki.hp



Twitter



@okazaki.hp



YouTube



岡崎市民病院

